

R5.6.14 下野

引きこもり 回復を考える

宇都宮 学習講演会、25日開講

引きこもりや不登校の当事者、その家族を支援するNPO法人「KHJとちぎベリー会」(斎藤三枝子理事長)は25日から来年2月まで、宇都宮市若草1丁目のとちぎ福祉プラザで学習講演会(全5回)を開く。「ひきこもりからの回復」を主題に、当事者の気持ちや接し方などについて学ぶ。

初回のテーマは「自分だ

けでは抜け出せない時…周囲の支援のあり方」。東京未来大准教授で臨床心理士の野中俊介さんが講演する。

8月27日の第2回はKHJ本部事務局長の上田理香さんが「生きる力を信じ支える家族の役割」、10月22日の第3回は引きこもり経験者でカウンセラーの高橋晋さんが「親の価値観・

生き方から本人自身の生き方・幸せへ」をテーマに講演する。第4回(12月17日)、第5回(来年2月11日)の詳細は未定。

時間は午後1時半～4時。参加費は当事者無料、会員1300円、一般1500円。家族が複数で参加する場合、2人目以降は500円。定員50人。

問同会の阿久津副理事長 090・3900・5643、ファクス0282・86・4437、メールaku@sky.ucatv.ne.jp。電話での申し込みはショートメールで。(井上裕史)